

第1回神保町地域駐車場地域ルール策定協議会
議事要旨

1. 日時

令和8年7月28日（火）9：30から11：00まで

2. 場所

千代田区役所8階 第2委員会室

3. 配布資料

次第

委員名簿

設置要綱

本編資料①・②

4. 議題

- ・ 神保町地域の上位計画・目指す将来像
- ・ 神保町地域における地域特性・交通課題
- ・ 駐車場地域ルールの概要
- ・ 神保町地域駐車場地域ルールのあり方の検討
- ・ 神保町地域における駐車場地域ルールの今後のスケジュール（案）

5. 議事要旨

事務局より資料説明を行い、協議会委員より下記の意見を受けた。

○地域特性・交通課題について

- ・ 神保町地域では、自動車利用が減少傾向にあり、駐車場の供給と需要のバランスや地域実態を踏まえた駐車場のあり方について検討を行う必要がある。
- ・ 古書店等の事業活動においては、宅配サービスの普及や物流形態の変化により、配送において自動車利用の必要性が低下している。また古書市場からの搬出入については、自動車よりも台車を使用することが多い。
- ・ 来街者の交通手段は、地下鉄網の充実により鉄道利用が中心となっており、自動車利用は蔵書を持ち込む際など限定的である。
- ・ 神保町地域は放置自転車が東京都内で比較しても多く、総合的な交通課題への対策検討が必要である。
- ・ 以前は高齢者層が多かったが、現在は外国人来訪者や若年層の来街が増加しており、神保町は古書店街としての魅力に加え、飲食や回遊を楽しめる多様な来訪目的を持つ地域となっている。

○神保町地域駐車場地域ルールのあり方について

- ・ 駐車場地域ルールの方向性については賛同の考えであり、特に近年商店街周辺で建て替えに伴う駐車場出入口の設置によって、路面店舗が減少し商店街の連続性が失われてきた経緯がある。街並みの維持や賑わい創出の観点から本制度を活用して、神保町のまちを守っていききたい。
- ・ 神保町地域まちづくり協議会でも、駐車場附置義務が建物更新の障害となっているケースが議論されている。
- ・ 大規模駐車場の利用実態について把握し、集約駐車場となりうる可能性があるか検討する必要がある。また調査にあたっては繁忙期・閑散期等の変動に留意しながら実態を把握すること。
- ・ 靖国通りの北側など、今後のまちづくりの進展を踏まえながらエリアのあり方については柔軟に検討していくこと。
- ・ 周辺の大規模ビルには附置義務駐車場が整備されているが、契約者専用となっている場合が多く、パーキングメーターをビル利用者が使用するなど、地域住民が利用できる駐車場が不足している課題があると感じている。
- ・ 神保町における荷さばき施設や共同荷さばき場として必要な機能については、業種によって荷捌き需要が異なるため、様々な人から意見を伺うことが良い。

以上